

黒田清輝「婦人像（厨房）」1892年（明治25）
本学蔵



右：高橋由一「鮭」1877年
（明治10）頃、本学蔵
左：狩野芳崖「悲母観音」
1888年（明治21）本学蔵

近代化は一面では欧米化といえますが、それが進められると同時に美術において民族のアイデンティティを確立する道も模索されています。伝統絵画を標榜する日本画が洋画と並立し続け、洋画においてもしばしば日本的とされる作風が試み

て回顧しようというものです。日本にとって二〇世紀は近代化の世紀といえます。一九世紀後半に成立した明治政府は、困難なプロセスを経てあらゆる社会機構の近代化を進めました。美術についてもその例にもれませんが、工芸など伝統的な技術が保護される一方で、油画の手法や彫刻の概念が導入され、美術のジャンルが再編成されました。この動きのなかで伝統的な書画から書が切り離され、絵画が独立します。作品や作家をとりまく環境も大きく変わりました。博覧会や展覧会において作品が鑑賞されるようになり、作家によって画壇が組織されます。

大学美術館において、東京都現代美術館・セゾン現代美術館と共同で「再考：近代日本の絵画」展を開催します。この展覧会は、明治期から今日にいたる日本の美術において、特に絵画に焦点を絞って回顧しようというものです。

「再考：近代日本の絵画 美意識の形成とその展開」 Remaking Modernism in Japan 1900-2000 自分たちがたどってきた軌跡を見直すこと

野口玲一

Geidai Tanshin

芸大 短信

春から夏への
大学美術館

2004.4

2005.3



東京芸術大学大学美術館
東京都台東区上野公園12-8

交通案内

・JR上野駅（公園口）より徒歩10分

・駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください

展覧会予定

(2004.4～2005.3)

大学美術館本館

「再考：近代日本の絵画」展 美意識の形成とその展開

4月10日(土)～6月20日(日)
入場料1500円(共通入場券)

横山大観「海山十題」展

7月27日(火)～8月29日(日)
近代日本画の巨匠である横山大観は、新しい日本画の創造を目指して数多くの名作を残した。その画業のなかで有名なもののひとつが、自らの画業50年を記念して専心作画した「海に因む十題」・「山に因む十題」の二十幅である。その作品を含め20点余りを一堂に集め、大観芸術の真髄を展覧する。
有料

芸大コレクション

7月6日(火)～8月29日(日)
入場料300円

開館5周年記念

興福寺国宝展

9月18日(土)～11月3日(水・祝)
興福寺は2010年に創建1300年を迎える。この間、戦乱を幾度となく経て被害を受けてきたが、その都度力強く復興しその偉容を伝えている。興福寺に伝わる鎌倉仏教美術の至宝である鎌倉復興期の彫刻を中心とした諸尊や寺宝30点余りを展示し鎌倉復興造営の成果と意義を紹介する。
有料

開館5周年記念

「HANGA 東西交流の波」展

11月13日(土)～1月16日(日)(休館
12/27～1/4)
17世紀半ばごろに制作された木製銅版画印刷機を核とし、19世紀後半から現代にまでわたる東西文化交流とその展開を画像、技法、思想の相互影響関係に注目しつつ、21世紀に入った現在、東西という文化的地理的条件と版画表現の手段を再考する。
有料

芸大コレクション

11月13日(土)～2005年1月16日(日)
(休館12/27～1/4)
入場料300円

退官教官展

1月27日(木)～2月13日(日)
入場無料

卒業・修了制作展

2月21日(月)～2月26日(土)
入場無料

陳列館

「東京藝大ガラスの作家たち」展

4月24日(土)～5月9日(日)
2005年4月大学院美術研究科にガラス講座が設置される。これを記念し、芸大出身のガラス作家にスポットをあて、素材としてのガラスが「美術」として社会に認められた、昭和初期から現在に至る日本造形の歴史を展覧する。
入場無料

「中国・フランスとの交流展」
5月13日(木)～5月23日(日)

日本画第一研究室研究発表展
9月14日(火)～9月20日(月)

“Chicago-NY-Tokyo”場と現代展
9月24日(金)～10月17日(日)

東西の改良楽器をめぐって
10月下旬

美術教育研究会
11月中旬

版画研究室企画展
11月中旬～12月上旬

スベル・フェーン展
12月中旬～2005年1月中旬

退官教官展

1月27日(木)～2月13日(日)

取手館

アートバス取手
12月上旬

開館時間は、いずれも10時～17時。月曜日休館(ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌日の火曜日休館)

展覧会の名称・会期については、変更することがあります。

展覧会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学美術館 Tel.03-5685-7755
NTTハローダイヤル Tel.03-5777-8600

展覧会の紹介は、下記ウェブサイトでご覧になれます。
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



池田達邨「三尾四季」1942年(昭和17) 本学蔵



杉全直「たかげた」1949年(昭和24) 本学蔵

られています。
日清・日露戦争の戦勝によって日本は帝国主義の道を進んだものの、第二次世界大戦の敗戦によって、政府が築いた体制は崩壊しました。しかし美術が被った変化はそれほど甚大ではなかったようにも見えます。画壇はいち早く復活し、戦前の前衛による模索も戦後に継続しています。
敗戦後の日本は幸運と努力によって復興を迎えますが、こんにちバブルの崩壊後、長引く不況によって社会と経済は大きな見直しを迫られています。近代において信じられてきた直線的な発展史観が見直されることによって、また価値の多様化により、美術や文化にも先行きの不透明さがもたらされています。このような状況下において美術に何が可能でしょうか。その問いに答えることは大変な困難が伴います。しかし近代化の名のもとに自分たちがたどってきたその軌跡を見直すことで、その答えに至るヒントを得ることができるのではないのでしょうか。
このような意図のもと、近代以降の絵画史を再構成することによって、そこに大きな役割を果たした美意識の変遷を浮かび上がらせることをこの展覧会は目指しています。
(のぐち・れいいちノ大学美術館助手)

主催 東京芸術大学 (財)東京歴史文化財団
東京都現代美術館 (財)セゾン現代美術館
*この展覧会は、同じ会期に二つの会場にわけて開催されます。
第一会場…(第一部 美意識の形成)東京芸術大学
大学美術館
第二会場…(第二部 美意識の展開)東京都現代美術館

Geidai Tanshin

芸大 短信
春から夏への
奏楽堂

2004.4

2005.3



東京芸術大学奏楽堂
東京都台東区上野公園12-8
交通案内
・JR上野駅（公園口）より徒歩10分
・駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

演奏藝術センター企画「藝大の響き」 《藝大ドヴォルザークプロジェクト》 没後一〇〇年を記念した演奏会とレクチャー

松下 功

チェコを代表する作曲家ドヴォルザークは一八四一年に生まれ、一九〇四年にブラハで亡くなりました。二〇〇四年はドヴォルザーク没後一〇〇年の記念の年にあたり、世界各地で彼の作品が演奏されることでしょうか。彼の作品の魅力は親しみやすく、かつ民族的特徴をもった旋律にあり、その音楽は世界の多くの人々から愛されています。創作のジャンルは交響曲、協奏曲、ピアノ曲、歌曲、オペラと多岐にわたっていますが、《藝大ドヴォルザーク・プロジェクト》では彼の主要作品だけでなく、知られざる作品にも光をあてながら、「ドヴォルザークとナショナリズム」について考察していきます。

五月一日には、世界的な指揮者クルト・マズアが学生オーケストラとともに「交響曲第八番」を演奏し、プロジェクト・オープニングに花を飾ってくれます。また、五月中旬から六月中旬までの毎週土曜日には、初期の作品、名声確立期、円熟期、アメリカ時代、

「晩年」の五回のレクチャー＆コンサートが開催されます。それぞれの会では多彩な講師によるレクチャーとともに多くの室内楽作品が演奏されます。とりわけ、歌曲として作曲され、後に弦楽四重奏曲に編曲された『糸杉』は、彼のロマンチズムを象徴する作品として興味深いものがあります。

ドヴォルザークは、自分の弟子であったヨゼフィナ・チェルマー・コヴァーへを愛し、その思いを全一八曲からなる歌曲集『糸杉』に込めました。結局その思いは遂げられず、彼はヨゼフィナの妹と結婚することとなりました。しかし、この作品に特別な思いを持っていたのか、一八八七年にそのうちの二二曲を弦楽四重奏『糸杉』として改作しました。レクチャー・コンサートでは、その両方の版を演奏することによって、彼のロマンチズムに触れたいと思います。

二〇〇四年は、同じくチェコの作曲家スメタナの生誕一八〇年、ヤナーチェクの生誕一五〇年にあたり、チェコ政府

が世界の大使館を通じて、チェコ音楽祭を呼びかけています。日本でも九月から十二月にかけてチェコ大使館の呼びかけにより、多くの音楽関係者が参加する音楽祭が催されますが、芸大でも二つの公演がその音楽祭に参加しています。

十月二十三日には、「ドヴォルザークとナショナリズム」と題したシンポジウムを開催します。その日の演奏会では、代表作・交響曲第九番『新世界より』とともに、日本初演となるエイミ・ピーチ作曲・交響曲第三番『ゲイリック』を取り上げます。ピーチはアメリカの女流作曲家で、ドヴォルザークのアメリカでの講演と「新世界より」の初演を聞き、大きな衝撃を受けました。そして、その影響を受けて作曲したのが交響曲第二番『ゲイリック』です。

そのほかにも、弦楽五重奏と管楽合奏による二つの「セレナード」、演奏機会は多くはないが名作としての誉れ高い「ピアノ協奏曲」、声楽科・藝大フィルの力を結集して挑む、大作「レクイエム」な



右：交響曲第8番のスケッチ
左：1890年頃のドヴォルザーク

などと、二二回に及ぶ《藝大ドヴォルザーク・プロジェクト》は、目を離すことができない演奏会となることでしょう。なお、平成十六年度は、芸術の過去、現在、未来を見据え、藝大ならではの視点に立った、『藝大の響き』『奏楽堂シリ

ーズ』『藝大21』の三つを柱とした多くの藝大関係者たちの力を結集した企画があります。詳しくは藝大公式ホームページ <http://www.geidai.ac.jp> をご覧下さい（まつした・いさお／演奏芸術センター助教授）

奏楽堂演奏会予定

(2004.4～2005.3)

定期演奏会・特別演奏会予定

(藝大ドヴォルザーク・プロジェクト ～ 別掲)

4月15日(木)
モーニングコンサート 第1回
11:00開演 入場無料
【曲目】未定 【管弦楽】藝大フィルハーモニア

4月22日(木)
モーニングコンサート 第2回
11:00開演 入場無料

4月23日(金)
平成16年音楽学部同声会新人演奏会 第1回
18:30開演 1500円(自由席)
【声楽・弦楽・管打楽】

4月24日(土)
平成16年音楽学部同声会新人演奏会 第2回
14:00開演 1500円(自由席)
【弦楽・管打楽・鍵盤】

4月24日(土)
平成16年音楽学部同声会新人演奏会 第3回
18:30開演 1500円(自由席)
【声楽・弦楽・管打楽・邦楽】

5月1日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

5月7日(金)
和楽の美 ～ 宮沢賢治 ～
19:00開演 2400円(自由席)
【曲目】邦楽劇『賢治宇宙曼陀羅』(原作:宮沢賢治)
【出演】赤木直明、安藤政輝、武田孝史、野村四郎、
藤原睦子、三浦正義、山本泰正(邦山)ほか
藝大邦楽科教官、学生
【構成・演出】笠井賢一 【舞台美術】伊藤隆道

5月13日(木)
モーニングコンサート 第3回
11:00開演 入場無料

5月20日(木)
モーニングコンサート 第4回
11:00開演 入場無料

5月22日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

5月27日(木)
創造の杜 ～ ルチアーノ・ベリオ ～
オーケストラ作品(全曲日本初演)
19:00開演 1800円(自由席)
【曲目】ファンファーレ(1982)
フォークソングス(1973)
～ オケストラ版 ～ほか
【指揮】尾高忠明
【メソソプラノ】青木美稚子、寺谷千枝子
【管弦楽】藝大フィルハーモニア

5月29日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

5月30日(日)
創造の杜 ～ ルチアーノ・ベリオ ～
セクエンツァ完全全曲演奏(作曲年代順)
15:00開演 1800円(自由席)
【出演】vn.: 澤和樹 cl.: 村井祐児ほか

6月1日(火)
藝大定期邦楽第68回
18:30開演 1800円(自由席)
【出演】藝大邦楽科の教官及び学生

6月3日(木)
モーニングコンサート 第5回
11:00開演 入場無料

6月5日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

6月10日(木)
モーニングコンサート 第6回
11:00開演 入場無料

6月12日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

6月13日(日)
上野の森 オルガン・シリーズ
～ 賛歌の系譜 ～
15:00開演 1800円(自由席)
【曲目】クラヴィア練習曲集第3巻
(♯ドイツ・オルガンミサ曲♯) 全曲(J.S. バッハ)
【オルガン】廣野剛雄、鈴木雅明、今井奈緒子

6月18日(金)
藝大定期オーケストラ第308回
新卒業生紹介演奏会
18:30開演 1300円(自由席)

6月19日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

6月25日(金) ドヴォルザーク・プロジェクト

6月26日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

6月29日(火)
“うた シリーズ
～ イタリアオペラ・ガラコンサート ～
ベルカントからヴェルismoの流れの中で
18:30開演 1800円(自由席)
【曲目】オペラ『ノルマ』より「清き女神」
(ベッリーニ)ほか
【指揮】佐藤功太郎
ハンス＝マルティン・シュナイト
【出演】林康子、直野資、佐藤ひさら、高丈二ほか
【管弦楽】東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ

7月1日(木)
モーニングコンサート 第7回
11:00開演 入場無料

7月8日(木)
モーニングコンサート 第8回
11:00開演 入場無料

7月11日(日) ドヴォルザーク・プロジェクト

7月15日(木)
モーニングコンサート 第9回
11:00開演 入場無料

7月17日(土)
時の響き ～ ジャズ in 藝大 ～
グレン・ミラー、デューク・エリントン、
カント・ベシー、そして黛敏郎
17:00開演 2400円(自由席)
【曲目】10楽器のためのディベルティメント(黛敏郎)
ムーンライト・セレナーデほか
【出演】森寿男とブルー・コーツ Vo.:ホリートモコ、
尺八:山本泰正(邦山) Tp.:杉本肇夫、Vn.:
澤和樹 Db.:永島義男 Manto Vivo(藝大
学生有志)ほか

9月9日(木)
モーニングコンサート 第10回
11:00開演 入場無料

9月16日(木)
アジア・躍動する音たち
～ アジアの協奏曲 ～ シンボジウム「アジアのアイ
デンティティ」(仮題)
17:00開演(5-109講義室) 入場無料
コンサート 19:00開演 1800円(自由席)
【曲目】暗香～古事とオーケストラのための～
日本:尺八とオーケストラのための協奏曲
韓国:ピリとオーケストラのための協奏曲
ウズベキスタン:タンブールとオーケストラ
のための協奏曲
【指揮】若杉弘【尺八】山本泰正(邦山)ほか

9月19日(日)
芸大とあそぼう ～ ゆかいな動物園 ～
14:00開演 1300円(自由席)
【曲目】童謡『ソウさん』、『動物園へ行こう』
『犬のおまわりさん』ほか
【歌・器楽アンサンブル】藝大大学院生・学部学生
【オルガン】浅井美紀

10月9日(土)
藝大定期オペラ第50回 第1日
2400円(自由席)

10月10日(日)
藝大定期オペラ第50回 第2日
2400円(自由席)

10月23日(土) ドヴォルザーク・プロジェクト

10月31日(日)
上野の森 オルガン・シリーズ
～ 賛歌の系譜 ～
15:00開演 1800円(自由席)
【曲目】『主の降誕』全曲(メシアン)
【オルガン】早鳥万紀子ほか

11月4日(木)
室内楽演奏会
ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ その
6 第1夜
19:00開演 1300円(自由席)

11月5日(金)
室内楽演奏会
ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ その
6 第2夜
19:00開演 1300円(自由席)

11月6日(土)
附属音楽高等学校 定期演奏会
入場無料(要整理券)

11月8日(月)
藝大定期吹奏楽第70回
18:30開演 1300円(自由席)

11月19日(金) ドヴォルザーク・プロジェクト

11月20日(土)
“うた シリーズ
～ 名曲でたどるパノラマ・フランス歌曲 ～
17:00開演 1800円(自由席)

11月25日(木)
モーニングコンサート 第11回
11:00開演 入場無料

11月26日(金)
藝大定期オーケストラ第312回
～ 学生オーケストラ演奏会 ～
18:30開演 1300円(自由席)

11月30日(火)
藝大定期邦楽第69回
18:00開演 1800円(自由席)

12月12日(日) ドヴォルザーク・プロジェクト

2005年2月9日(水)
藝大定期室内楽第31回 第1日
18:30開演 1300円(自由席)

2月10日(木)
モーニングコンサート 第12回
11:00開演 入場無料

2月10日(木)
藝大定期室内楽第31回 第2日
18:30開演 1300円(自由席)

2月13日(日)
管楽器シリーズ
～ 藝大プラスの歴史をふり返って ～
15:00開演 1800円(自由席)

2月18日(金)
藝大チェンバー・オーケストラ
第4回定期演奏会
19:00開演 1300円(自由席)

3月13日(日)
上野の春
15:00開演 1800円(自由席)

藝大ドヴォルザーク・プロジェクト

5月1日(土)
プロジェクト・オープニング・コンサート
～ 世界のマエストロを迎えて ～
17:00開演 1800円(自由席)
【曲目】交響曲第8番ト長調B.163(作品88)(ドヴ
オルザーク)ほか
【指揮】クルト・マズア
【管弦楽】東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ

5月22日(土)
～ レクチャー・コンサート第1回 ～
1800円(自由席) <第1回～第5回通し券7200円>
レクチャー “初期の作品” 17:00開演
“弦楽五重奏曲イ短調B.7(作品1)” 抜粋
コンサート 18:30開演
【曲目】前奏曲とフーガB.302より
ピアノ五重奏曲イ長調B.28(作品5)ほか
【出演】Vn.: 浦川宜也、清水高師、玉井英採、三木晶
子 Va.: 大野かおる、朝吹園子 Vc.: 松本卓
似、門脇大樹 M-Sop.: 枝野朝子 Pr.: 角野
裕、奥千歌子 Org.: 廣野剛男ほか

5月29日(土)
～ レクチャー・コンサート第2回 ～
1800円(自由席)
レクチャー “名声確立期” 17:00開演
“スラヴ舞曲第一集B.78(作品46)” (ピアノ連弾)
抜粋
コンサート 18:30開演
【曲目】ヴァイオリンとピアノのためのソナタへ長調
B.106(作品57)
スラヴ舞曲第一集(ピアノ連弾)全曲ほか
【出演】Vn.: 玉井英採、長原幸太、Va.: 朝吹園子、
Vc.: 山崎伸子、Cb.: 永島義男、Pf.: 青柳晋、
木村綾子、砂原悟ほか

6月5日(土)
～ レクチャー・コンサート第3回 ～
1800円(自由席)
レクチャー “円熟期” 17:00開演
“ロマンティックな小品B.150(作品75)” (B.149の
改訂)
コンサート 18:30開演
【曲目】ドロブノスチ(ミニアチュア2vn.:va)
B.149(作品75a)
スラヴ舞曲 第二集B.145(作品72)(ピアノ
連弾)ほか
【出演】Vn.: 岡山潔、服部芳子、Va.: 深井碩章、Pf.:
多美智子、佐藤俊、長尾洋史ほか

多美智子、佐藤俊、長尾洋史ほか

6月12日(土)
～ レクチャー・コンサート第4回 ～
1800円(自由席)
レクチャー “アメリカ時代” 17:00開演
“8つのユーモレスク B.187(作品101)” 抜粋
コンサート 18:30開演
【曲目】弦楽五重奏曲変ホ長調B.180(作品97)
「アメリカ」ほか
【出演】Vn.: 田中千香子、Va.: 菅沼準二、SAWA
QUARTET、Pf.: 鈴木慎高ほか

6月19日(土)
～ レクチャー・コンサート第5回 ～
1800円(自由席)
レクチャー “晩年” 17:00開演
“弦楽(弦楽四重奏版)B.152” 抜粋
コンサート 18:30開演
【曲目】ピアノ四重奏曲変ホ長調B.162(作品87)
糸杉(歌曲)B.11 ほか
【出演】Pf.: 伊藤恵、諏訪明子 Vn.: 白井圭、浦川宜
也、守屋剛志 Va.: 菅沼準二、大野かおる、
Vc.: 山崎伸子、松本卓似 M-Sop.: 寺谷千枝
子ほか

6月25日(金)
藝大定期オーケストラ第309回
19:00開演 1800円(自由席)
【曲目】ピアノ協奏曲ト短調B.63(作品33)(ドヴ
オルザーク)ほか
【指揮】小林研一郎 【ピアノ】植田克己
【管弦楽】藝大フィルハーモニア

6月26日(土)
藝大チェンバー・オーケストラ第3回定期演奏
会
17:00開演 1300円(自由席)
【曲目】オペラ『カプリッチョ』(作品85)より
「六重奏」(R.シュトラウス)・チャパ『編曲ほ
か
【指揮】ベーター・チャパ

7月11日(日)
管楽器シリーズ ～ チェコ音楽の魅力 ～
15:00開演 1800円(自由席)
【曲目】4本のトランペットとティンパニのための
『ファンファーレ』B.167ほか
【出演】Tp.: 杉本肇夫 Cl.: 村井祐児 Pf.: 渡邊健二、
丸山滋ほか

10月23日(土)
チェコ音楽祭 2004 参加演奏会
シンボジウム「ドヴォルザークとナショナリズム」(仮
題)
14:00開演(音楽学部5-109講義室) 入場無料
共催: 日本音楽学会関東支部
藝大定期オーケストラ 第310回
17:00開演 1800円(自由席)
【曲目】交響曲第2番ホ短調『ゲリッック』作品32
(エイミ・ビーチ)・日本初演・ほか
【指揮】佐藤功太郎
【管弦楽】藝大フィルハーモニア

11月19日(金)
チェコ音楽祭 2004 参加演奏会
藝大定期合唱・オーケストラ第311回
19:00開演 1800円(自由席)
【曲目】レクイエムB.165(作品89)
【指揮】ハンス＝マルティン・シュナイト
【独唱】未定
【管弦楽】藝大フィルハーモニア
【合唱】東京藝術大学音楽学部声楽科学生

12月12日(日)
“うた シリーズ
～ ヴォーカル・アンサンブルの魅力 ～
15:00開演 1800円(自由席)
【曲目】モラヴィア二重唱曲B.60(作品29(32))
(ドヴォルザーク)ほか
【出演】藝大ヴォーカル・ソロイストほか

平成16年1月31日現在の予定表です。
今後、演奏会内容、日程等については、変更する
ことがあります。

演奏会の曲目、開演時間等の詳細については、決
定次第、大学ホームページで発表します。
http://www.geidai.ac.jp

チケットの取り扱い
チケットぴあ Tel.0570-02-9990 / 東京文化会
館チケットサービス Tel.03-5815-5452 / 東京
芸大大学美術館ミュージアムショップ Tel.03-
5685-1176

演奏会のお問い合わせ先
演奏芸術センター演奏係 Tel.03-5685-7700